

【郡市リーグ大会で優勝しました🌸】

3/22、船橋アリーナにおいて開催された「郡市リーグ大会」に参加しました。

郡市リーグ大会は、県内各市の年代別代表選手による団体戦であり、計7対戦（一般男女ダブルス、ミックス、40歳代男女ダブルス、50歳代男女ダブルス）によりチームの勝敗が決します。ランクは1部から3部まで。ひとつの部につき、5市による総当たりリーグ戦となります。今年度も、3部×5市、計15市チームの参加による、大規模な大会となりました。

この郡市リーグ大会の特徴は、一発勝負のトーナメント戦である県民大会と違い、リーグ戦なので最後まで順位が分からないこと、また、一般（若手）のみならず、40歳以上のシニア層の選手力も重要である点です。さらに、選手の人数が多い大会でもありますので、特に、シニア層は年齢的にもコンディションの調整が大切であるとともに、対戦相手との相性等も勝負を左右する一因となることから、必然的にオーダーにも力が入ります。まさに、各市の「総合力」が試される大会と言えます。

なお、この郡市リーグ大会は、年度末に開催されることから、Nチームが活動する最後のイベントとなります。特に今年度の一般メンバーは、県民大会でも活躍した主力メンバーを揃えることが出来たので、優勝のチャンスあり!!と、いつも以上に気合も入っていたような...

＜市川市選手団＞

【一般】折原凌、北村拓未、平田凌、八巻凌、長野来夢、波多野晴香、大澤すみれ、美濃麗華

【40歳代】赤川誠、染谷祐志、吉田雄、竹内英子、眞鍋紗綾、大森千恵子

【50歳代】斎藤貴之、菊池英俊、西塚隼人、杉町敬人、田村早苗、市川明子、沼田尚美

市川市は、昨年度、1部リーグ残留でしたが、決して余裕のある試合展開ではなく、残留出来て一安心といったところが実情でした。ここ数年はレベルの高い1部と2部を行ったり来たりすることが多いため、1つの勝敗が、その後の展開に大きく影響することになります。

今年の1部は、千葉市、柏市、印旛郡市、市原市、市川市の5市によるリーグ戦。どの市も全世代においてレベルの高い選手を揃えており、選手層の厚さが伺えることから、戦前から非常に厳しい試合展開が予想されていました。1部は、どの世代の選手もレベルが高いことが特徴です。

最下位⇒2部降格という最悪の結果を避けるべく、残留も視野に入れつつの厳しい戦いを迎えたのですが、前述のとおり、密かに優勝を狙える陣容に大いなる期待もしていたことから、朝からドキドキの試合が始まりました...

❖第1戦（対千葉市） ○5-2

朝イチから、いきなり前年度チャンピオンの千葉市と対戦。この対戦が、優勝への肝と考えていたことから、非常に力の入った戦いとなりました。

結果、想像を超える5-2で快勝!! 50歳代女子、40歳代男子、一般男子の粘り勝ちが印象に残っていますが、チームの応援も盛り上がり、優勝へのステップとしては素晴らしい滑り出しとなりました。

※なお、この後も50歳代女子と一般の試合(MD・LD・Mix)は負けなしの全勝!!これが大変効きました~♪

『Topic (印象に残った試合を少々紹介...)』

40歳代男子ダブルス(赤川・染谷組)、強豪ペアにストレートで勝ち切りました。全国区の相手選手とのラリーに負けることなく、ミス無く攻め続けたのが勝因です。しかしながら、赤川選手はいつも頼もしい。

❖第2戦(対印旛郡市) 07-0

初戦の千葉市同様、男女ともレベルの高いチーム。特に、シニア層が充実しているイメージで、気が抜けない相手です。市川市としては、連勝して、さらに勢いに乗りたいところです。

始まってみたら、競り合う対戦もありましたが、なんと全ての対戦で勝利。出来すぎ!?!の7-0で2連勝。まさに、チームの総合力で勝利しました。

これで、2勝0敗となりました。

『Topic』

40歳代女子(竹内・眞鍋組)が、ファイナルでの劇的な勝利。1ゲーム目を落としたものの、立て直してからの安定感が良かったです。その後のチームの勝利にも繋がりました。

❖第3戦(対柏市) 04-3

2勝0敗で迎えた第3戦。ここを勝てば、一気に優勝が近づく大事な試合。一方で、負けると、リーグ内の順位も分からなくなってくる危険性も。実は、この対柏市戦が、この日、最も競った対戦となりました。一般の対戦はやや有利と分析していたため、是が非でもシニア層の対戦で勝ち切りたいところですが、強敵揃い。厳しい戦いが予想されました。

結果は4勝3敗で何とか勝ち越し!!チームの総合力での勝利でした。この対戦が最も手に汗握る展開となり、一番痺れたかもしれません。

『Topic』

一般男子ダブルス(平田・折原組)。3人いる「凌」の中の同級生ペア。終始競り合いとなりましたが、粘り強くラリーを続けストレートで勝ち切り。チームの勝利を決定づけ、優勝を一気に引き寄せてくれました。

❖第4戦(対市原市) 07-0

3勝0敗で迎えた最終戦。勝てば文句なしの優勝。全勝した対戦もあるため、非常に有利に試合を進めることが出来ました。ただ、気を抜くと、チームとしての敗戦も十分にあり得るため、最後まで油断の出来ない大切な試合となりました。

結果、全ての対戦で勝利し、7-0の結果となりました。優勝を最高の形で決めき

ることが出来ました～♪

『Topic』

一般女子ダブルス（大澤・美濃組）。相手も非常に強いペアで、ファイナルまでもつれましたが、レシーブと配球が一步秀でていたか、接戦での勝利。今後の市川市を背負って立つ若い2人の成長に、応援に来ていたお母さまも、さぞかし喜んでいただいていたのではないのでしょうか～☺大貢献の2人に感謝です。

最終結果は、1位は全勝の市川市。以下、2位千葉市、3位柏市、4位印旛郡市、5位市原市でした。

全勝（7-0）の対戦結果が2つもあったというのも、優勝の大きな要因となりました。ちなみに、他の全ての対戦（2部、3部を含む）を見ても、全勝（7-0）の結果はありませんでした。代表選手の試合は非常に競るのが通常なので、全勝（しかも2つ!）があるなんて、この日の市川市は強かった!!

選手の頑張りに加え、応援に駆けつけてくださった皆様に、感謝×感謝です。

（なお、郡市リーグ大会は、今回で40回目でしたが、市川市が過去に優勝したのは39年前とのこと。第2回開催の頃でしょうか、かなり前のことにはなりますので、まだ「Nチーム」という体制もなかった頃です。まさに、選手の力に加え、応援団を含むチーム全体での応援等、「チーム市川」のパワーで優勝を掴みとったと言えます。）

今大会のMVPですが、これだけ優秀な結果を残していると選び難いのが実情ですが、あえて選ぶとするならば、出場した4試合、全てにおいて勝利を収めた田村早苗選手を推したいと思います。女子シニアチームの核として、存分な活躍を見せてくれ、チームの勝利に大きく貢献してくれました。

さらには、折原、平田、八巻の3「凌」選手に加え、ご存知、北村選手が存在感のある働きをしてくれ全勝の成績。安心して見ていられました。まさに、市川市Nチームの「顔」として、今後の活躍にも期待したいと思います。

総括（1年間を振り返って）

今年度は、県民大会において男子がベスト16、女子はベスト8という結果に終わりました。特に、男子はシード落ちしたことから、来年度は厳しい組み合わせになることが決定的です。

2月の市川 Special 大会においては、Aチームが3位。この度の郡市リーグ大会では1部リーグで優勝と、年度の後半、良い成績を残せましたが、県民大会で良い成績を残せなかったのが反省点です。

これからも、この結果を忘れずに、それぞれが奮闘し、より上の結果を残せるよう、日々努力することが必要かと思えます。

また、Nチームの役割として、各種講習会等においてもサポートさせていただきました。スポーツ教室、初心者講習会、先日の中級者講習会等、指導者としての責務も果たすことが出来たと感じています。若手のNメンバーにも頑張ってもらいました。

この度の郡市リーグ大会において、令和7年度のNチームとしての活動は終了しましたが、次年度に向けた選手選考等、既にアクションは起こしています。

これからも、参加する選手が気持ちよく試合に出られるよう気を配るとともに、応援していただける存在であり続けるよう、私自身の至らない点を正し、尽力して参ります。

今後も、引き続き、ご声援の程、宜しくお願い致します。

〔文責：強化担当理事 杉町〕



【力強い応援、有難うございました♪】



【躍動する選手の面々!!】



～大会を終えて～



【賞状いただきました🌸】

